

令和4年度学校経営の方針

五所川原市立金木中学校

□スローガン「今に生き：命を大切にし、何事にも前向きに取り組む生徒を育成する」
「大切なのは、かつてでもない、これからでもない、一呼吸、一呼吸の今である」坂村真民
今を大切に生きる生徒は、自身の描く輝かしい未来をつかみ取ることができる。これを基本理念に、全教職員で取り組む学校をつくる。

1 学校経営の基本方針

教育は、一人一人の生徒の人格の向上と完成を目指して行われるものである。また、変化の激しい現代にあっては、豊かで潤いのある社会の形成者として、健康な身体をもち、生きる力を身に付けた生徒の成長を期して行われなければならない。これらのことに鑑み、五所川原市の将来、青森県の将来、日本の将来、ひいてはこれからの世界を担う人づくりのため、「教育は人づくり」という原点に立って、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努めたい。推進にあたっては、全教職員が一丸となってチーム金木中学校として立ち向かっていくことを心がけたい。

2 本校の教育課題

本校生徒は、素直に物事に取り組み、仲間と共に協力するよさを持ちながらも、将来の夢や進路に向けての意欲の向上に欠ける面が見られ、学習意欲も高いとはいえない。このため、将来の目標を定め、しっかりとした目的を持って真剣に学習に取り組む生徒を育成するとともに、生徒と生徒、生徒と教師の心の交流を通した潤いのある学校づくりに取り組むことが本校の学校課題である。

3 校訓

- (1) 「真意」… 真剣に学び、まことの心を研ぎ澄ますこと・真
- (2) 「和親」… 仲間との絆を深め仲睦まじくなること・和
- (3) 「健勝」… 心身ともに健やかであること・健

4 教育目標

夢と志を持ち、真剣に学習に取り組み、心身ともに健康な生徒

【学力】しっかりとした目標を持ち、全力で学習に取り組む生徒

【心情】思いやりと感謝の心を持ち、仲間と協力し合える生徒

【体力】あきらめることなく、進んで身体を鍛える生徒

5 努力目標

- ・将来の目標に向かって、常に真剣に学習に取り組む生徒を育成する。
- ・思いやりと感謝の心をもって人と接し、仲間を大切にする生徒を育成する。
- ・多少の困難にもくじけることなく、進んで身体を鍛える生徒を育成する。

6 めざす学校像

「通いたくなる（生徒）、預けたくなる（保護者）、勤めたいくなる（教職員）学校」

- (1) 生徒・教師との心のつながりがあり、楽しく学び合うことができ、生徒が通いたくなる学校
- (2) 子どもの成長を願い、進路や生き方についての熱心な支援により、安心して預けたくなる学校
- (3) 教育活動全体に、チームとして協力して立ち向かうため、意欲を持って勤めたいくなる学校

7 めざす生徒像

「将来の目標をしっかりと持ち、夢の実現に向けて、志高く精一杯頑張りぬく生徒」

- (1) 元気に明るいあいさつのできる生徒
- (2) しっかりとした目標を持ち、真剣に学習に取り組む生徒
- (3) 思いやりの心を持ち、仲間をいたわり、よりよい学校生活を築こうとする生徒
- (4) あきらめることなく体を鍛え、強い気力を持った生徒
- (5) 清掃活動に精一杯取り組み、校舎をきれいにし、学校を大切にする生徒

8 めざす教職員像

「生徒よりも先に生まれた人間としての自負を持ち、諸活動に全力で取り組む教職員」

- (1) 生徒との心の触れ合いを大切にし、将来の生き方をともに考え導いていける教職員
- (2) 分かりやすい授業づくりを通して、生徒に確かな学力を身に付けさせる教職員
- (3) 自己の目標を掲げ研究に励み、互いに切磋琢磨し、力量を高め合う教職員
- (4) 互いの立場を尊重し、ねぎらいのある、明るい職場づくりに努める教職員
- (5) 保護者や地域との協調を図り、信頼される教職員
- (6) 服務規律を遵守し、常に危機管理意識を持って物事に取り組む教職員

9 今年度の実践的重点課題

- (1) 基礎・基本の確実な定着に努め、学力の向上を図る。
 - ① 生徒の実態を把握し、定着している分野と未定着の分野をあきらかにして指導にあたる。
 - ② 学習課題を明示し、学び合いの場を意図的に設定し、まとめと振り返りのある授業づくりに努める。
 - ③ 目標に準拠した評価を実施し、積極的に指導の改善に努める。
 - ④ TT 及び学習形態の工夫を図り、個に応じた指導の充実に努める。
 - ⑤ 読書活動の大切さについての認識を深めさせ、朝読書の充実に努める。
- (2) 深い生徒理解に基づいた生徒指導の充実に努める。
 - ① 基本的な生活習慣の確立と落ち着きのある学校生活の実現に努める。
 - ② 生徒の心に寄り添い、意図的なチャンス相談を計画するなど、教育相談の充実に努める。
 - ③ 複数の教師・スクールカウンセラー、関係機関との連携を図り、多面的な指導に努める。
 - ④ 生徒の実態に応じて教材を工夫し、心に響き・心が動く道徳の実践に努める。
 - ⑤ 自発的な生徒会活動を積極的に支援し、自治的能力の向上に努める。
- (3) 諸活動を通して学級・学年・学校生活の充実に努める。
 - ① よりよい学校をつくり上げるために、諸問題を解決するための話し合い活動の充実に努める。
 - ② 望ましい集団活動を通して、よりよい人間関係を築いていくため、教師と生徒、生徒相互の温かい人間関係づくりに努める。
 - ③ 生徒の発想を大切にし、集団の一員としての自覚が深められるような活動の展開に努める。
 - ④ 行事の前後の指導を大切にし、行事と行事、行事と日常生活が結びつくような活動に努める。
- (4) 信頼される学校を目指し、PTA 活動の充実と地域との連携に努める。
 - ① 学校教育全般にわたり、学校の現状を積極的に公開・情報発信し、開かれた学校づくりに努める。
 - ② PTA 活動への積極的な参加を促し、教職員と保護者との連携を深める。
 - ③ 学校評議員の年間活動計画に基づき、その充実に努める。
 - ④ 学校評価の結果を真摯に受け止め、工夫改善を通して、学校改善に努める。
 - ⑤ 個人目標を具体的に立て、能力の向上を図るとともに、学校組織の活性化に努める。